

瀬部小だより 1月号

平成19年1月12日



1 3月6日は、瀬部小学校100年目

明けましておめでとうございます。いよいよ2007年の開幕です。

瀬部小学校は、前身の西成第一尋常小学校より数えて100年を迎えます。長寿社会にあっても100年も長生きするのは至難の業です。瀬部小学校の先人の皆様の努力によって、様々な試練を乗り越えて現在の学校があります。衷心より御礼申し上げます。

瀬部小学校は、地域の「学び」の交流の場として、地域の期待を受けて現在まで努力してまいりました。また、次の100年をめざして、新しい出発を開始したいと思います。

本校では、現在552名の児童が学んでいます。児童の一人ひとりが自信を持って成長できるよう力いっぱい応援をしてまいります。どうか、今後ともよろしく願いいたします。児童の成長のために、この100周年の記念行事の計画を今検討中です。



2 子育て不安・・・

子育て不安は誰にでもあります。他人の芝生ではありませんが、他所は良く見えます。しかし、どの親にも共通するのは、「健康で、他人に迷惑をかけない子どもになってほしい」と言うのが、昔から変わらない願いのようです。

「人生劇場」の作者 尾崎士郎(幡豆郡吉良町出身)は言います。「私の子供が生まれたのではない。子供によって私が生まれたのだ」(ぼくの人生読本)と。この言葉を読むたびにはっとします。私たちは、子どもが生まれることによって、親としての自覚が生まれます。子どもによって、人は親として生まれ変わります。そして、子どもの心や体が成長することは、実は、親である私たちの心の成長があるからなのです。私たち教師も子どもを教育することによって、教師として成長できるのだと思います。どうぞ、手を取り合って子どもの成長のために努力しあってまいりたいと思いますので、本年もよろしく願いいたします。



3 始業式での励ましの言葉

平成19年 明けましておめでとうございます。明るい瀬部小の皆さんの笑顔にほっとしています。

初めに皆さんに紹介が2つあります。まず、年末に、名古屋の千種区にある大和小学校の児童会の皆さんから、児童会で集めたプルタグのプレゼントがありました。バケツ1杯分ほどあります。よかったですね。

次に、男子の小用を除く、プッシュ式の水洗トイレを、みんなバー式に換えました。用を足したら、バーを下げるか上げるか、右か左下のどちらに回して1・2・3・4・5と数えて、流してください。

さて、私たちにはできることがあります。それはなんでしょう。(分かりますか。)それは、「学び勉強すること」ができるということです。ぼくは・わたしは、勉強が苦手だという子がいると思います。しかし、皆さんの学ぶ体験が、世界の人々のためになります。そして、この学び・勉強が深まればすごいことになります。何点とったかではありません。学んで、人のため、世の中のために役に立とうとする気持ちが大切なのです。

人間が「考える」ときは、自分が今までに学んできたことや様々な体験を元にして考えます。勉強すればするほど、深く考えられるようになります。だから、どんな難しい問題も解決できるようになります。

ですから、21世紀をよくするのは私たちの学び(勉強)に掛かっているのです。皆さんの学びが21世紀を良くする鍵なのです。1月23日(火)に皆さんが、国語と算数で、どれくらい力がついているかを確かめるCRTというテストをします。皆さんの苦手なところが出ます。今から自分で勉強してみましょう。

最後に、明治40年3月6日に始まる丹羽郡西成第一尋常小学校から数えて、瀬部小学校は100年目を迎えます。瀬部小学校の伝統は「学び」です。先生に学び、友だちに学び、互いに仲良くしながら、できるまで挑戦しましょう。みんなで仲良く励ましあったり、応援しあったりするのが瀬部っ子です。ともにがんばりましょう。



4 保護者アンケートのお願い

1月15日に瀬部小学校の教育に関する保護者アンケートを実施します。本校の教育の充実に向けて、建設的なご意見をお願いいたします。